

はじめまして



令和5年9月生まれのおともだち

令和5年11月生まれのお子さんを募集します

- 9月2日(月)～30日(月)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、10月1日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



中島 花歩ちゃん(棚田町)
令和5年9月10日生まれ
父・賢さん 母・真樹さん
「花歩は家族みんなの癒やしだよ」



高橋 明莉ちゃん(向町)
令和5年9月3日生まれ
父・優太さん 母・香澄さん
「たくさんの幸せが訪れますように」



松本 帆奈ちゃん(野)
令和5年9月17日生まれ
父・慎吾さん 母・里奈さん
「いつも癒してくれてありがとう!!
みんなはーちゃんのこと大好きだよ♡」



鈴木 瑛菜ちゃん(棚田町)
令和5年9月14日生まれ
父・祥悟さん 母・真野さん
「生まれてきてくれてありがとう♡
元気に育ってね!」



渡辺 陽翔ちゃん(持田)
令和5年9月30日生まれ
父・匠さん 母・沙希恵さん
「幸せあふれる笑顔! いつもありがとう♡」



岩崎 結人ちゃん(埼玉)
令和5年9月5日生まれ
父・優樹さん 母・美咲さん
「これからもすくすく元気に育ってね♡」

市長コラム

— 新しい行田へ —

第12回「世界一の田んぼアート! 私たちにしかできない応援の仕方」



行田市長 行田邦子



稲穂が風に揺れるこの季節、行田市について何かと話題に上るのが、田んぼアート。行田市田んぼアートはギネス登録世界最大という規模もさることながら、素晴らしいのは他を圧倒するその表現力です。もちろん、市外で行田の田んぼアートをPRする時は、規模だけでなく表現力も世界一であることを自慢しています。まさに自画自賛です。

今年の絵柄は、「能登復興祈願」。絵柄を決めた経緯を訊かれることがあります。実は、市民の方とのちょっとした会話がきっかけでした。輝かしい新年を迎えた日に起きた能登半島地震。元日の発災への驚きや被災地へのお見舞いの気持ち、地域防災への意識などさまざまな思いが交錯する中、本市においても新年消防出初式が開催されました。同日に行われた中央第2分団消防団の反省会でも能登地震の話となり、ある消防団員の方が少し遠慮がちに私に話しかけてくれました。「行田には田んぼアートがあるよね。翔んで埼玉とかもいいけど、田んぼアートで復興を応援するっていう考え方もあるんじゃない?」

「ありがとう! 考えてみる」行田市では既に職員や給水車の派遣を決めていましたが、さらに支援ができないかと思いを巡らしていた私にとっては、まさに天の声。市の職員と調べてみたら、能登のキリコ祭りが日本遺産に認定されていることが判明。関東平野の行田と能登半島は地理的にも人的にもつながりが薄いと思いがちですが、郷土の文化を誇りに思う気持ちでつながっていることが分かりました。

能登の復興を願いながら描いた世界一の田んぼアート。ささやかですが、私たちにしかできない応援の仕方です。今日も、多くのお客様が古代蓮の里を訪れています。能登高校書道部の生徒さんによる「がんばろう! 能登 復興祈願」という力強い文字に心が打たれます。皆さんも行田市田んぼアートを見ることで能登復興を応援しませんか。

今月の表紙

昨年12月から買い物支援や、世代などを越えた交流の機会を増やすことを目的に運行開始した「うえたん号」。日用品や食品、医薬品などを店舗と同じ価格で提供しています。また、8月26日からは販売場所を市内45カ所から55カ所に増やし、利用者増加に向けた取り組みを進めています。ぜひ、ご利用ください。



現在の友だち登録数32,800人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい植物油インキ